



教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活をもつ生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

令和2年 8月31日号 第9号

秋へ

江別市立江別第一中学校
校長 新田 元 紀

◎ ナナカマドの実

まだまだ残暑厳しい毎日ですが、心と街路樹を見ると、ナナカマドの実が赤く色づき始めています。明日からは9月です。北海道は一気に秋へと突入していくのでしょうか。

◎ 「特別な夏」から

「特別な夏」という言葉が、あちらこちらで使われていました。短い夏休みが終わり、「特別な夏」から「通常の秋」へ向かうことができればいいのですが、新型コロナウイルスがなかなかそうはさせてくれません。旅行的行事も、体育的行事、文化的行事も例年のようにはいかないようです。

◎ 文化的行事…合唱

文科省の衛生管理マニュアルでは、音楽の「合唱」は「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習」であり、換気、身体的な距離の確保や手洗いなどの感染症対策を行った上で実施することを検討します。」とされています。

音楽科の授業では、体育館や多目的ルーム等を活用し、十分な距離をとって「合唱」の授業を行っていくように考えています。

ただ、「合唱コンクールは？」ということになると話は簡単ではありません。12学級が教室という狭い空間で距離をとってパート練習をし、合唱を完成させていくのは実質無理です。

ちなみに全日本合唱連盟のガイダンスによると、合唱の際は左右1メートル、前後2メートルの距離をとることになっています。

さらに言うと、文科省の衛生マニュアルQ&A

では、合唱コンクールを行う場合、距離をとってパート練習を行い、1度のリハーサルであわせ、本番を行うことが例示されています。

それでは何のための合唱コンクールなのかという気がします。練習して、練習して、練習して…泣いたり笑ったりしながら何度も合わせ、作り上げていくのが合唱コンクールだと思っています。だから、そこに大きな感動が生まれます。

したがって、残念ながら、10月2日に予定していた合唱コンクールを中心とした文化的行事はできません。

学習成果を発表する何らかの行事を持ちたいと思っていますが、保護者の皆さんをご招待できるかどうかは、今後検討していきます。

◎ 体育的行事・旅行的行事

合唱一つとっても、様々な制限がかかっていることがわかりいただけかと思えます。

同じく体育的行事や旅行的行事にもいろいろな制限がかかります。何ができて、何ができないのか？ 生徒達の成長のためにどんなことができるのか？ 今一度検討していきます。

しかし、何をやるにしてもリスクをゼロにするのは不可能です。学校としてもぎりぎりの判断が続きますが、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◎ 防災の秋

文化の秋、スポーツの秋…様々な秋がありますが、例年とは様変わりしそうです。

先日、25日は避難訓練でした。3密にならないように学年ごとに時間をずらして行いました。9月1日は防災の日ですから、「防災の秋」は例年通りと言えるかもしれません。

2年前に北海道を襲った大震災。あの時は、防災について深く考える日々でした。今はどうでしょう？ 避難訓練の生徒への挨拶で、自戒と反省を述べました。皆さんのご家庭はいかがですか？